

## 電子書籍をどこでも読めるようにするための、2重のシリアルナンバーによる管理

### 詳細説明

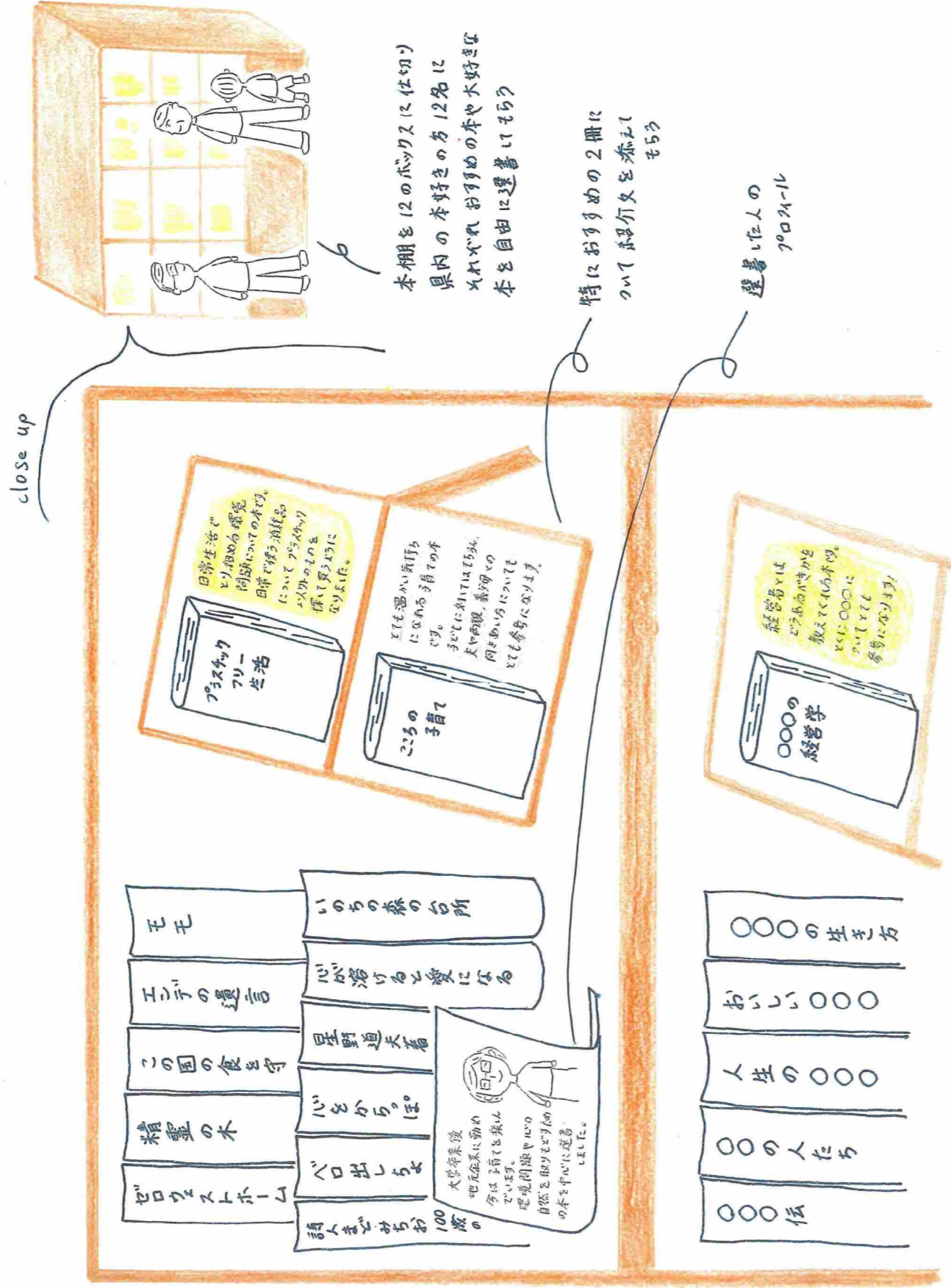
#### アイデアよりも先にある思想

図書館で本を借りた後、読むとき、紙の本では持ち運ばなければならないが電子データ化された本(以下、電子書籍という)なら、自宅で、学校で、外出先で、電車内でコインランドリーで、病院で、というようにどこでも読める。また、どこでも読めるように複製することができる。技術的にどうやって実現するかは提案である。

#### アイデア

貸し出し希望者と、希望者が利用する装置群の、2重のシリアルナンバーの使い捨てである。貸し出し先に対して、希望があるごとに、1重目のシリアルナンバーをふる。貸し出し先に対して、さらに、利用環境について、2重目のシリアルナンバーをふる。返却された場合は、シリアルナンバーを消す。返却を記録し、そのときのシリアルナンバーは以降で2度と使わない。貸し出しの度に、また、環境が増えるごとに、それぞれ、シリアルナンバーを1つ増やして使う。返却の度に、そのとき使われたシリアルナンバーを使い捨てにする。図書館の側で、シリアルナンバー何番が、誰の手元でどんな状態かを管理することがポイントである。管理されているものと一致しないシリアルナンバーが出てきたら違法コピーなどの不正を疑うことができる。データの消去は、閲覧時に、オンラインで部分的にしかデータを渡さない等が考えられる。最初から、貸し出し先のローカルにはデータを残さないのである。これなら返却を待たずしてコピーを減らせる。ここに書いたことが、どこかの特許等だった場合は、私の再発明であったことを認め私は何も言っていないこととする。

# 県民による参加型本棚の提案



## 「県民による参加型本棚の提案」

静岡県内の本好きの方に自由に本を選書してもらおう参加型本棚の設置を提案します。このアイデアは、雑貨店などにあるレンタルボックスから着想を得ました。本棚を12のボックスに仕切り、そのスペースの中で12名の方に、それぞれ自由に選書をおこなってもらいます。

本を選書していただく方は、年齢、職種等が多種多様になるように募集を行います。選書するのが小学生の場合、例えば、大好きな児童文学や大人にもぜひ読んでほしいと思う本などを選書してもらいます。他にも、子育て中の主婦の場合は料理の本や育児で役に立った本などを、企業に勤める人の場合は心の支えになった本などを・・・等それぞれの方がおススメの本をボックスの中に15冊～20冊程度選書します。選書を行った人のプロフィールと、1,2冊について簡単な紹介文（本屋さんにあるポップのようなもの）を本とともに添えてボックス内に展示します。ボックスを12に分けた理由としては、それぞれ選書を行った12人が順番に、ひと月に一度座談会形式の「本好きによる本の会（仮題）」が開催できたらと思います。（座談会についてはコロナの状況に応じての開催）。一年経過後は、また新しい12人を募集し参加型本棚の入れ替えを行うことで、年を追うごとに参加型本棚の認知をより高めていきます。

図書館側にとつてのメリットとして、読書離れが進む中いままでもとは違った視点で本の紹介ができるとともに、依頼を受けた12人を通じて今まで図書館に足を運んだことのない人たちへの集客効果も見込めると思います。また県民とともに本棚づくりをすることで、どのような職種・年齢の人が、どのような本を求めているのか、県民の意見を定期的に取り入れることができます。

参加者側にとつて、自分の好きな本やおススメの本を並べるだけという気軽さがあり、かつ参加者が会社員や自営業者等であれば、自身の仕事について親しみや理解を得てもらえる場にもなりますし、学生であれば公共の場で自身の考えを伝える場にもなり、また定年された方や主婦にとつては社会とつながる場にもなります。毎月の座談会は状況しだいですが、参加型の本棚そのものが、非対面での本を通じた交流の場になりえると思います。



# 有償ボランティアシステム

## システム

コロナ禍の後に必要なのは学びです！

こんにちは！私は図書館の妖精 ハミング です。毎日、図書館を見守りながら、ハミングしているの。今日は、新しく図書館が設立されるから、ちょっと「人間」の扉をノックしてみたのよ。そうしたら、、、図書館員は足りないし、その育成に時間と経費が掛かるって、言うじやない。だって、有償ボランティアさんを募って、運営を地域住民にお任せしたら、いいかもねいわ。育成にかかる時間と経費は、同じだけれど、地域には、有償ボランティアしてみようという人が大勢いるわ★ そうね、お金は、もとを正せば“信頼”でしょ。稼いだ信頼を、そなたやすく手放してはいけいわ。沢山、お金を稼ぎ過ぎた人はボランティアできるけれど、普通の一般住民では、無料奉仕する金銭的余裕はないかもねいわ。そう、退職したばかりの高齢者や、専業主婦には、自由に使えるお金は少なくて、細切れだけれどゆーりの時間はあるものなの。だから、実費支給の有償ボランティアなら、きっと、参加者は多いはず。でも、実費支給となると、振込口座を登録したり、銀行へ依頼したり、いろいろ煩雑な手続きが増えてしまっって、小規模なボランティア活動さえ、シンプルでなくなってしまうわ。だから、『有償ボランティアシステム』を図書館で創ってみましょ！図書館で、気軽にボランティア活動できるよ。うに、体制を整えれば、一般住民でもボランティア活動に参加する『きっかけ』がつかめるわ！ そうね、イメージとしては、インターネットの画面上で、参加希望ボタンを押せば、ボランティア活動の意思表示になったり、どの様な助けを必要としている人がいるかをわかる様にする…という感じで、どうかしら？さあ、続きは、本文をご覧ください！！

県立図書館は、市町村立図書館を支援する立場にあります。そこで思ったのは、市町村立図書館には、地域くまなく、図書館サービスをいきわたらせる責任があると言う事でした。移動図書館が図書館から離れた地区を巡回しても、昨今、流行りのサードプレイス提供までは、田舎には届かないと思います。そこで、不平等をなくす為に考えたいのが、公民館の図書室です。公民館の図書室に少しだけ設備を加え整えた『ハミング図書館（第一弾参照）』を、学校区位の身近さに創ると仮定します。そこは、地域住民に開放されていて、運営スタッフは住民ボランティアさんが担います。その時、ボランティアスタッフ募集に必要なのは、インターネット上に展開する『有償ボランティアシステム』だと思っています。

### 図書館ボランティア情報システム

No.	活動名称	主催者	活動内容	活動期間	募集	参加条件	参加希望	参加希望	参加希望	コメント欄
1	ハミング図書館ボランティアスタッフ	図書館	図書館の本棚の排架 又は、カウンター係	火・木 18:30~19:30	500	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	利用者 送迎 可、不可
2	ハミング図書館ボランティアスタッフ	図書館	中央図書館配送	毎日 11:30~12:30	500	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	コメント欄
3	ハミング図書館ボランティアスタッフ	図書館	中央図書館配送	毎日 11:30~12:30	500	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	コメント欄
4	車の指ボランティア	児童館	子ども食堂の配膳・手伝い	月・水・金 15:00~16:00	1h	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	コメント欄

### 図書館ボランティア情報システム

No.	イベント名称	主催者	活動内容	活動期間	募集	参加条件	参加希望	参加希望	参加希望	コメント欄
1	ボランティアレベル初級 図書館の回研修	図書館	図書館の高架と仕事内容	火 18:30~19:30	無料	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	オンライン 講習会
2	ボランティアレベル中級 音楽講習会	図書館	高齢者へ音楽講習会	毎週 18:30~19:30	300円	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	コメント欄
3	ボランティアレベル上級 おしゃべり会	図書館	高齢者へ児童のコミュニケーション	月 18:30~19:30	無料	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	コメント欄
4	ボランティアレベル初級 図書館の回研修	図書館	図書館の本棚の整理整頓	フリー	無料	なし	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 参加	ビデオ 講習

上記のように、妄想してみました。また、ポイントシステムにして、例えば貯めた累積ポイントで、次のレベルの研修が受けられるという様に、色々考えていかなければなりません。図書館の利用者カードをマイナンバーカードに載せて、ポイント付与していくのも一案でしょう。この様に、図書館と福祉行政や社会福祉協議会がコラボした情報システムを、是非、構築してほしいと願っています。そうすれば、ボランティア活動をインターネット上で検索して、この活動に参加しようと思っさっかっけを作り易くなると思います。コメント欄には、連絡先が明記してあればなお良いと思いますが、単純に図書館に問い合わせても良いのです。図書館という、**誰にでも差別なく平等なサービスを提供する場所**ならではの、有償ボランティアシステムになってゆくと。まずは、基本機能として「図書館ボランティア募集・応募・実費支払い・活動記録・ポイント付与」に、的を絞って、第一段階のシステム構築を行い、続けて、住民の反応を見ながら、ひとつづつシステム機能を追加していく方策でも良いでしょう。たぶん、新図書館は、規模の大きな図書館になると予想されます。それはそれでいいのですが、田舎のお爺ちゃんや、ひょっこり図書館を訪れて、はたして大きな図書館に親しみを持てるのか？図書館利用初心者も必ずいます。そんな**初心者の為に平等にサービスを提供**すべきなのです。だから、地域の小さな『ハミング図書館』は、残しておかなければなりません。まず『ハミング図書館』を利用して、ステップアップ！→最寄りの市立図書館分館→市立中央図書館→県立中央図書館と、ステップを踏む事で、利用者も成長するのが。その為にも、新図書館の片隅に設置する『モデル図書室』や『ハミング図書室』を、ボランティアスタッフで軽快に運営する為にも、有償ボランティアシステム構築が必要。スタッフを循環させながら、住民ボランティアスタッフも図書館利用者も、図書館と共に成長できるように。老若男女、誰一人、取りこぼさずことごとく、図書館利用を促したいものですね。

信頼って、考えてみると……、信頼は裏切られてしまう事があるけれど、手にしたお金は裏切られない。でも、お金が無くなった時、信頼だけは残っているかもしれない。。お金と信頼、始まれば、“信頼”の方が先なのよ。実費支給の有償ボランティアが、無償のボランティアか、ボランティアする人の経済状態によるわね。富める人も、そうでない人も、志あれば、気軽にボランティアできる環境が必要だと思うのよ。ボランティアで、生計を通じて“信頼”を稼ぐ事は、自身の生きがいになるわ！そして、正しい評価も必要なの。コロナ禍過ぎた後には、それぞれが学び残さずが大切になるわ！ぜひ、図書館で学んでね！

県民のみならず、図書館からボランティア活動 始めてみませんか？ Books are for all 以上

## \*\*\*\*\*総論的施策\*\*\*\*\*

全国の図書館で、個人貸出冊数や個人利用者数の減に直面し苦しんでいます。小生、毎日福岡市総合図書館に通う、一日滞在型のヘビー利用者で、「女子トイレ」以外は館内の人物金に精通、図書館の問題点を熟知。こういう利用者が提案する「図書館活性化」策です。

### 1. 新型コロナ感染症の終息後に即実行すべき施策

#### (1) Go To 図書館キャンペーン・・・外に打って出る営業を

静岡県立図書館の危機（貸出冊数減など）・窮状を、図書館職員や司書、図書館協議会委員で県庁前や繁華街にて県民に訴える。「もっと図書館に来訪して、そうしないと図書館予算が減らされる」等を訴える。知事や教育長、県職員に「何じゃ」と思わせることに意味があります。知事や教育長に何じゃこら、と思わせたら次に

(2) 「一人一読県民運動」(仮称)の展開・・・「読書県しずおか」の充実  
県知事、県議に図書貸出カードを作成させ、県民に模範を示させる。

(参考ですが、福岡市は「一人一花運動」のような、アホな事業を実施)  
県知事が先頭に立ち「図書館から本を借り」、職員や県民に模範を示すことが大事です。

できれば、県職全員にも図書貸出カードを作成してもらう事が望ましい。組合が「強制は問題」等と文句を言って来たら、その程度の危機感のない輩です。無視。

次に、館内には「一人一読県民運動」の横断幕と図書館の窮状が判る数値を掲示する。とにかく広く県民に危機を訴えることが大切。＊以上、経費（費用）は、殆ど掛かりません。横断幕作成費用程度か。

### 2. 図書館協議会の活性化

少なくとも宛職で、図書館の「と」の字も知らない委員は解任すべき、そうして委員には図書貸出カード作成させる。

さらに委員一人一人に、金の掛からない「図書館活性化」策を提案させ、実行までさせ責任を持たせる。批判だけなら誰でもできます・・・評論家は不要

新人の協議会委員のために、委員実践マニュアル(仮称)を作成すべき(市町村立図書館の見本)。

### 3. 運営は全て直営で(会計年度任用職員司書の活用)

業務の一部を委託する契約の場合、消費税10%が上乘せになる。委託先社員は安価な報酬で労働を強いられます。消費税10%は大きいので、この分を直営に回すべき。官製ワーキングプアを作らず、単純作業(配架等)のみの委託先社員を作らず、モチベーションを持たせるべき、そのためには直営で全て実施を。直営実施で①配架、②貸出・受付業務、③レファレンスの業務を順次交代で回す。レファレンスは苦しい業務ですが、経験すればスキルがつき、モチベーションが上がります。

今回のコロナのような緊急事態が発生した場合、直営(会計年度任用職員含む)であれば、図書館休館時には、繁忙担当への支援流用が教育長の指示で即可能です。委託(民間)であれば、そうはいかない。

要は、直営の緊急時バッファ要員を抱えて置くことが肝要です。

＊会計年度任用職員の報酬も安価ですが、少なくとも委託社員よりは高い。

○関連してレファレンスについて

最近AIで代行とか、メールでレファレンスを受付等の話(現今のコロナ下でさらに増幅)があるが、必ず対面式で。理由、利用者の態度、顔色、言葉遣い等全体で利用者の意向をくみ取る必要あり。そのためレファ担当者は、医師の問診と同じようなスキルが必要。「漱石の本」のレファに、担当者が種々問診して、結局「精神関係の医学書」を紹介、利用者も満足。このような展開になればレファ冥利につきます。

ただ、レファ担当者は以上のようにコミュニケーション能力が求められますので、「人見知りする内向きな人」は向いていないので配慮が必要。

### 4. 電子書籍の導入について

コロナ下で政府が補助金をつけたので電子書籍の導入が声高に叫ばれています。しかし、全国どこの図書館も、書籍は「金太郎飴」で内容は同一。電子書籍システムの業者が利するだけ、静岡は金太郎飴でなく「オンリーワン」を目指して欲しい。

### 5. 勉強室

学生が教科書や参考書持参で勉強しているだけ。図書館本の利用に繋がっていないので勉強室は不要。放課後や休日に学生が自宅外で勉強せざるを得ないなら、その場は学校内に確保すべき。野球部、書道部等と同様に勉強部(仮称)があってしかるべき。現在は、先生方が負担になるので避けているだけ。

## \*\*\*\*\*個別施策(高齢者のボケ防止(閉籠り解消)のために)\*\*\*\*\*

冒頭にも紹介しましたが、小生ヘビー利用者で図書館にて論文を作成しています。平日図書館に常駐するのは、我々の様な行き場のない?高齢者が殆ど、しかし何れも熱心に読書、研究に勤しみます。この人達のために活躍(情報発信)の場を設ける。

(1) 研究成果(成果論文で個人歌集、句集等は対象外)の展示の場

図書館にて成果物を展示・・・内容自由(原則図書館の資料を参考とし10P以内で作成。参考文献を表記させる。手書きでも可。当面は静岡県民で60歳以上を対象。図書館側は展示の場の提供だけ)

読むだけでなく書かせれば、さらにボケ防止に繋がります。春と秋に図書館祭りを企画し、この中で一企画事業として実施。次のステップとして

(2) 利用者の成果物を電子書籍化し全国に発信

金太郎飴的電子書籍本ではなく、静岡「オンリーワン」を目指す。

<http://www9.plala.or.jp/chietaku/unyou.pdf> ←は小生の個人のURLです。

このようなものを図書館側で立上げ発信して欲しい。サーバー容量の関係もあるので10P以内とする。

全国に発信すれば、同好の士から内容について問合せあり、しかし図書館側はタッチせず個人間に任せる

(3) 研究成果の発表の場

成果物を図書館会議室などで発表させる。司会は図書館司書、聴衆は一人でもOK。パワポで発表させることで、PCスキルのアップにもつながる。聴衆から質問が出てくれば、最高です。

# ここではおしゃべりしても大丈夫！ 本とともだちフロアー

図書館はおしゃべり禁止！のイメージ。  
このフロアでは本についておしゃべりすることができます。  
親子で、友達と、恋人と、本について語り合ってみてはいかがでしょうか？

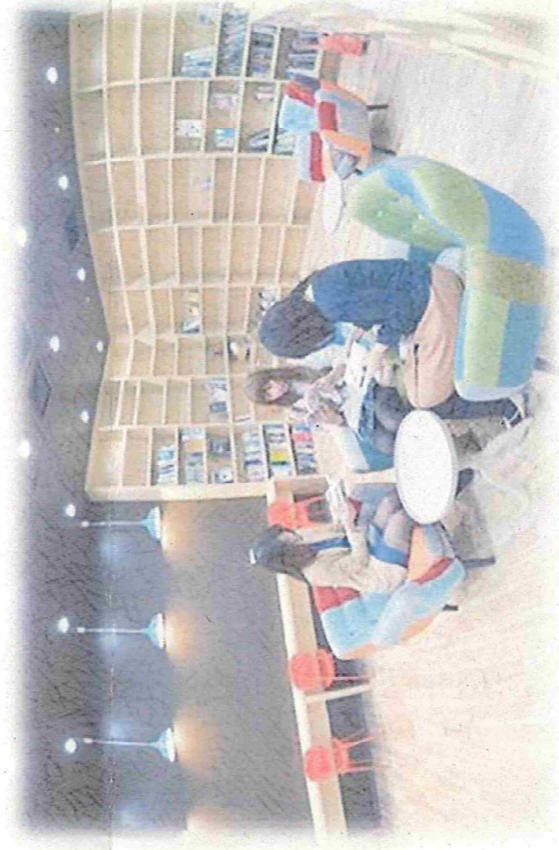


## 子どもコーナー

親子でよみかせをしたり、お友達と  
絵本を読み合ったり、お家でくつろぐ  
ように過ごせます。  
おはなし会も開かれます。

## ビブリオカフェ

友達や恋人と好きな本について語り合  
えるコーナーです。  
ここでは飲み物を飲みながら過ごすこ  
とができます。



## みんなの掲示板

デジタルサイネージで新着本やおすす  
め本の紹介が掲示されます。  
一時間に一回、司書が動画でおすす  
め本を紹介する番組が流れます。  
収録イベントを開催し、\*紹介番組に  
県民が参加することもできます。

\*紹介番組「静岡県民がおすすめの本を紹介します〜ほんつ  
なぎ〜」一人30秒程度でおすすめの本を紹介する



静かに本を楽しむ人もいる。人と本を語り合いたい人もいる。  
新しい図書館はみんなが「本とともだち」になれる空間です。

## テーマ《明日につながる図書館》

ネットであらゆる情報にスピーディーにアクセス可能となった現代の中で、県立図書館には、より確実、かつ深い学びにつながるサービス提供が求められている。

### ① 「人」とつながる・・・図書館に足を運びにくい県民へのきめ細かいサービス

- ・病院、高齢者施設、公民館、こども園、児童館に窓口や返却ポストを設置し、入院患者、施設利用者、乳幼児、妊産婦へ、貸借サービスを行う。
- ・多文化共生社会を目指し、県在住外国人へ母国語の文学書、情報誌等を揃え、心に寄り添うサービスを拡充する。

・小中学校教育を支える資料、情報の積極的な提供。

・・・現在、小中学校の図書館は、蔵書数が少なく、生徒の学びを十分刺激できていないと感じている。各教科の単元にあった資料をタイムリーに提供したい。

例) 小学四年生 国語「ごんぎつね」の学習→原本、新美南吉の著作物、時代背景を学ぶ資料、農具の写真集等々。

### ② 「物」とつながる・・・多くの人が持っているスマートフォンの画像検索機能と図書館をつなげ、より深い知識と教養にふれるきっかけにする。

例) 身の回りアイテムをスマホで撮影→アイテムに関連する蔵書の表示ができる。

(スマホ画面)



・○○焼作品集 751…  
・○○焼の歴史 236…  
・スベインの地理 293…  
・○○の経営戦略 335…

# 図書館におけるデータ収集の、プライバシー保護のための、根本的な発想の転換

## 詳細説明

### アイデアよりも先にある思想

公益社団法人日本図書館協会の、デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン[1]を読んで、県立中央図書館においても、いわゆるデータベースが使用されているだろうと推測した。私はICTについても、プライバシー保護についても専門家ではない。k-匿名化など専門的なことについては知らない。しかし、データ上、図書館利用者の行動パターンで同じものがたくさんあると、データを使用する限りでは、個人々のプライバシーを特定されにくいだろうなということとは分かる。

ここで、より一般のことを想像して、プライバシーが守られる例を挙げる。観光地にある土産物店に、バスツアーの客が大勢来て土産物を買っていくことである。土産物店にポイントカードはない。(私が知らないだけで、あるとしたら無視して下さい。)しかも客は大量である。観光客の行動パターンは容易に想像される。しかし逆に個人々の特性は出てこない。決まりきった観光コース、食事、お土産、おやつという具合である。選択肢が少なく、それが大量に分散されるというべきか。自分と同じような行動の人間が多くいると、プライバシーは守られる。この具体例を大事にし、図書館でのデータ収集についてやや詳しく考えた。

### アイデア

では、どうやって、利用者の行動パターンについて、データ上、同じものを増やすか、である。本の流通を考えてみてほしい。結果として、図書館には、様々な本が出版社から買われ、整然と並んでいる。時間をさかのぼるとどうか。出版社の倉庫には同じ本が大量に印刷され並んでいる。倉庫では、本は書店、図書館など流通先へ運ばれるのを待っている。出版社において、どの本がどこへ売れたというデータは、バスツアーの土産物店での買い物データのるように、パターンが似てくる。つまり、図書館で出版社毎にデータを取ればいいのである。(1つの図書館で、様々な本が集まったあと、利用者ごとにご利用履歴のデータを取るとか、本ごとに貸し出し履歴のデータを取るとか(図1)、とは異なる。)もちろん、こう考えると、全国の図書館に対して、(世界中のすべての図書館でもいいが、)出版社が出版社毎に自社のデータを取り、図書館等へ提供するべきである(図2)。そうすればプライバシーはより守られるだろうし、図書館の利用実態の調査なども円滑に行われるだろう。

(さらに考え方を徹底すれば、生産->流通->消費という経済の基本を抽象的に考えても、流通に関わる中間的な存在ではデータを生産の側へ渡し(残すとプライバシーが守りにくい)、大量生産する生産者のところでデータを残し、適切に管理、また、流通・消費の方々加工したデータを提供するということが導かれる。これはプライバシー保護、セキュリティに関わる発想の転換である。)

[1]<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/817/Default.aspx>

図1 従来の本の流通とデータ収集の概念図

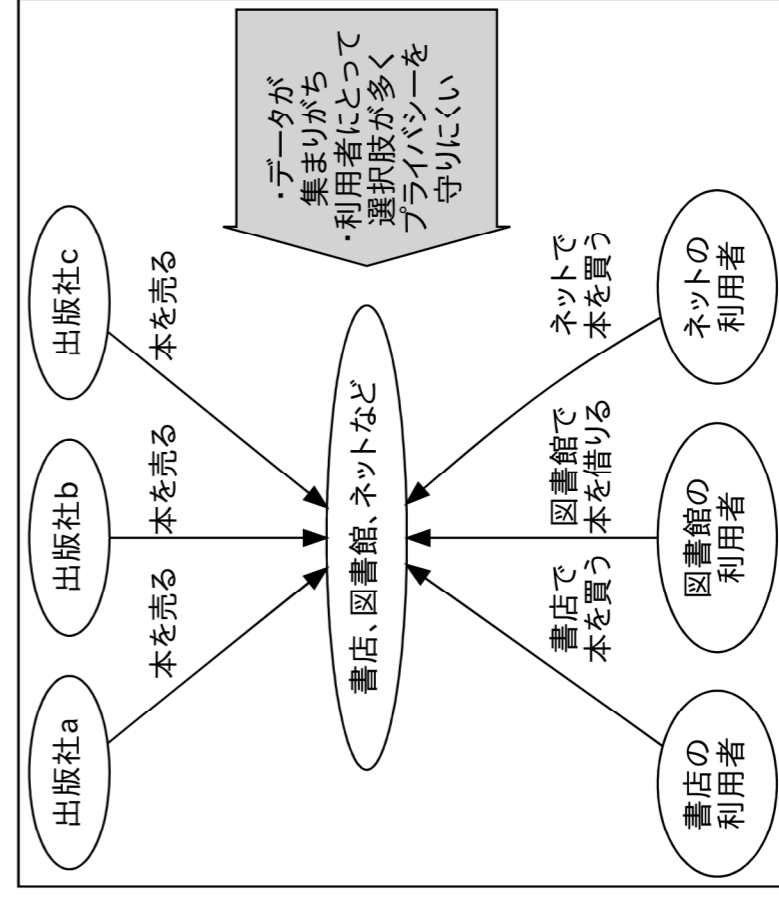


図2 提案する本の流通とデータ収集の概念図

